

小角類(厚 ^三 。稅 ^三)	八六四八七	二〇、七、二三、四	減 五八、三%
大角類(厚 ^三 。稅 ^三 以上)	五五一、七四六	一〇、三三、六五七	減 四六、六%
普通丸太(張 ^三 丸太)	一三九、六六二	一九六、九七七	減 二九、一%
合計	七八五、〇三七	一、四九一、九四〇	減 四七、四%

四、消費方面ニ就テ
 米松輸入数量ハ著シキ減少ヲ來セルモ之ニ對シテハ内地
 材ニテ充分補給セラレツ、アルコト前述ノ如クニシテ供
 給上何等ノ支障モ來シ居ラザルモノト認メ居レリ

乙、昭和七年法律第四號ノ影響

林業關係重要品目中本法律ニ因リ税率三割五分ノ引上ヲ
 見タルモノ左ノ如シ

- 一、パイン、ブァー、シダー、ヘムロック、スプルース中已ノ五(米松等ヲ除キタルモノ)
- 二、桐
- 三、木炭
- 四、桐油
- 五、漆
- 六、漆蠟、反櫃蠟
- 七、醋酸石灰
- 一、パイン、ブァー、シダー、ヘムロック、スプルース中已ノ五(米松等ヲ除キタルモノ)

つが 属
 計 此方、この属
 まるからまつ

一九二、八九九
 一〇六七、三〇六
 一四九六、三一四

四八、九二五
 一、二四九、六四八
 二、四七五、五〇六

減六〇、〇
 減一四、六
 減三九、五

消費方面ニ就テハ前述ノ如ク外材ノ輸入数量ノ減少ニ伴
 ヒ内地材ハ相當進出ヲ見ルニ至リ充分需要ヲ充シツ、ア
 リ近來ハ一般建築ハ大部分内地材ヲ使用スルニ至レルモ
 ノト認ム

二、桐

桐材ノ輸入ハ南支ノ動乱等ト相俟ツテ近來著シク減少セ
 リ、三割五分税ノ影響トシテ特記スベキ事項ナシ

輸入額調

昭和七年自七月至十月	昭和六年自七月至十月	六年ニ対スル七年増減率
三二八二百斤	一一、九九二斤	減八二、〇%

三水炭

水炭ハ近年支那動乱ノ關係上支那ヨリノ輸入殆ンド無ク
 且其ノ数量ハ内地需要数量ニ比スレハ極メテ少量ナルヲ
 以テ三割五分税増徴ノ影響トシテハ別ニ特記スベキモノ
 ナシ但シ輸入数量ハ左ノ如ク減少セリ

昭和七年自七月至十月	昭和六年自七月至十月	六年ニ対スル七年増減
一〇百斤	一七一百斤	減九四、二%

桐油

桐油ノ輸入ハ三割五分増徴後却ツテ多少ノ増加ノ傾向ヲ示セリ是レ蓋シ支那方面ニ於ケル投賣ノ影響トモ見ルヲ得ベキモ内地生産ニハ未ダ大ナル影響ナク一般需要ノ増加傾向ト共ニ價額ハ寧口騰貴ノ步調ヲ辿レリ

輸入額調

昭和七年自七月至十一月	昭和六年自七月至十一月	六年ニ対スル七年増減率
四一七、八九三斤	三九〇、一一二斤	増 七・一%

價格ノ変遷

七年	輸入品	内地品
二石當 九〇・九〇	五二・八一	
八年一月	九六・四八	八五・四九

五漆液

漆液ノ輸入ハ為替下落ノ為最近減少ヲ來シ價格モ稍騰貴ヲ示セリ且内地品ノ生産量ハ目下ノ處一万貫内外ニ止マリ當分著シキ増量ノ見込ナキ状態ニアルヲ以テ内地品生産ニ對スル三割五分税増徴ノ影響ハ比較的微小ナルモノト認めラル

輸入額調

昭和七年自七月至十一月	昭和六年自七月至十一月	六年ニ対スル七年増減率
四、八五三 百斤	八、〇八五 百斤	減 四〇%

價格ノ変遷

七年	輸入品	内地品
一二、〇〇〇—一二、五〇〇	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇
八年一月	一三、〇〇〇	二〇、〇〇〇

六 漆蠟及楮蠟
 輸入量少量ナルヲ以テ特記スベキ事項ナシ

七、醋酸石灰

醋酸石灰ノ需要ハ最近アセトン製造及塗料溶剤トシテ多
 少増加シ徒ツテ其ノ輸入並ニ生産トモ増加ノ傾向ヲ示セ
 ルモ三割五分増徴ハ相當輸入ノ抑制ニ與レルモト認ム
 輸入額調

昭和七年自七月至十月	昭和七年自七月至十月	六年三対スル七年増減率
四、三五〇 百斤	三、八八四 百斤	増 一二%

價格ノ變遷

七年	百封度ニ付	輸入品	六、四三
八年一月		内地品	七、五〇
			七、五〇